## Ⅱ 実践

## (3) 発達や学びをつなぐ生活科単元の作成と実施

こんないいこと!

な

捉

め

か

な

支援

業の構想

子供が自信をもって主体的に学びに取り組みます!

## 共有を生かした活動の設定と個への支援のサイクル

<mark>子供が自信</mark>をもって 主体的に学びます

#### 保幼小交流会

#### 発達や学びをつなぐ 活動の設定の例

1年生はいろいろな

教科で、グループで

協力しながら活動

し、それを楽しむよ

第1回交流会のペア

以外の年長児とも仲

良くなりたいとはり

きっています。

うになりました。

# 発達や学びをつなぐ

# 個への支援(事前の準備)の例

A 君は, いろいろな物事に関心をも ち楽しんで関わろうとする良さが ありますが、自分の思いで行動しが

第1回交流会では,自分の遊びに夢 中なり、ペアのBさんが 取り残されました。A君 は、そのことを振り返り、

A 君のやる気を認め、年長児との

関わりに結び付くような声がけ

「今日も, やる気まんま

ん!」,「階段だから気を付

けてね」、「ここは、保健室だ

よ。僕は、手を手当てしても

らったよ」。年長児の様子を

確かめながら、最後まで進

んで関わり、一緒に

を, 授業以外でもしよう。

もっと仲良くなりたいと カードに書きました。

第2回交流会は,ペ A君・B さんのペアと、Cさんたちの アでの活動から始 ペアをグループにしましょう。Cさん が声を掛けてくれると、 A 君の目的意 め,グループ活動へ 識が途切れず、力を発揮できそうです。 広げましょう。

学校探検で打ち

解けた後のリレ 一遊びに,作戦タ イムを設定して はどうでしょう。

自己紹介、ふれあい遊び、学校 探検、待ち時間のふれあい、リ レー遊び等、ペアからグループ での段階的な活動を設定した。

自己発揮し, 主体的な活動が広 がった。相手の反応に応じた積 極的な関わりが増えた。

#### 1 学年の授業

#### 発達や学びをつなぐ 個への支援(即時的)の例

D 君は、気持ちの切り替えが苦 手で、ちょっとしたことで長時 間いじけたり怒ったりします。 同じ園や近くの席の友達に親し みを感じ,一緒に活動すること ができるようになりました。

在園時には,選択肢を与えるこ とで自分の気持ちを言葉にす る経験を重ねてきました。

ペアの年長さんにプレゼント するペンダントづくりで困っ たときには,近くの友達とお話 することで考えを広げ, 自己決 定できるように支援しよう。

女の子が好きな形が思い浮かば なくて悩んでいるんだね。友達 に聞いてみる?

○○もいいね。それも素敵だね。



友達との関わりから自分なりの思いた。 なりの思いをもち,安心 してのびのびと製作し

## 次の授業に生かすための記録

活動を楽しんだ。

主体的な学び

## 皿 おわりに

幼児期の教育の内容や方法, 学びを理解することにより, 小学校教職員の1年生に対する見方が変わり, 子 供の発達と学びの連続性を見通す意識が生まれ、単元配列表の改善、授業構想や子供への支援の改善へとつな がり、1年生がもつ力を発揮した主体的な学びにつながりました。

▶幼保小の教職員の交流の場や, 校内での共有の場を設定するなど, 幼小接続に学校体制として取り組み, 継続していくことが大切です。

Step up

▶平成 29 年度告示の小学校学習指導要領・幼稚園教育要領等に示された「10 の姿」について幼保小の教職員が理解を深め ること、「10の姿」を介して子供の発達や学びを共有することが、授業の構想・実施の改善につながりました。今後は、小 学校入学に際して共有される子供の発達や学びを生かした小学校教育の在り方に一層の重点を置いた実践が望まれます。

研究報告書と補助資料は、岩手県立総合教育センターの下記Webページに掲載しています。 https://www1.iwate-ed.jp/04kenkyu/211youji.html

#### 平成 30 年度 岩手県立総合教育センター

#### 研究主題

# 幼児期の教育と小学校教育の 円滑な接続の具現化に関する研究

一子供の発達や学びをつなぐ生活科を中心としたカリキュラムの作成と実施を通して一

【研究担当者】長期研修生 森田 圭子

(所属校 花巻市立湯本小学校)

【この研究に対する問い合わせ先】

TEL 0198-27-2735 FAX 0198-27-3562

E-mail kyouka-r@center.iwate-ed.jp

#### I はじめに

新小学校学習指導要領では, 幼児期の教育と小学校教育の円 滑な接続の重要性や, 低学年教 育全体における生活科の役割の 重要性が一層詳しく示されまし た。本研究は、このことを踏ま え、幼児期の教育と小学校教育 の円滑な接続の具現化を目指し たものです。

これまでも, 小学校と幼稚園 等の間では幼小連携の取組が行 われ,各小学校では、スタートカ リキュラムが作成・実施されて いるところです。しかし、これら の取組が, 幼児期から児童期の 子供の発達や学びの連続性を踏 まえていないことが少なからず あり、幼小の円滑な接続へと十 分につながっていない現状があ ります。その要因として、①幼児 期から児童期の子供の発達や学 びの連続性、教育の連続性への 理解が不十分であること、その ために、②カリキュラムの作成・ 実施・評価・改善が適切になされ ないことが考えられます。

## 幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の具現化

小学校に入学した子供が主体的に自己を発揮しながら学びに向かう

#### 幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を踏まえた 教育活動の実施

〈 子供の発達や学びをつなぐ 第1学年の生活科を中心としたカリキュラムの作成と実施 〉

#### (3) 発達や学びをつなぐ生活科単元の作成と実施



(1) 幼児期の教育と

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」(10 の姿)の理解

#### 幼小接続の課題

- ●幼小連携やカリキュラムの作成・実施等の取組が、幼児期から児童期の子 供の発達や学びの連続性を踏まえたものになっていない
- ・カリキュラムの作成・実施・評価・改善が適切になされない
- ・幼児期から児童期の子供の発達や学びの連続性、教育の連続性への理解が 不十分

そこで、本研究では、保育参観・校内研修会等の実施による「(1)幼児期の教育と『幼児期の終わりまでに 育ってほしい姿』(10 の姿)の理解」を土台として、小学校第1学年における生活科を中心とした「(2)単元 配列表(年間計画)の作成」、幼保小教職員による子供の発達や学びの共有に基づく「(3)発達や学びをつな ぐ生活科単元の作成と実施」を行う一連の取組を、「幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を踏まえた教 育活動の実施」として行い, 小学校に入学した子供が主体的に自己を発揮しながら学びに向かう幼小の教育の 円滑な接続の具現化の在り方の一例を示しました。

#### I 実践

## 幼児期の教育と「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」(10 の姿) の理解

こんないいこと!

教師が、子供の発達や学びを生かした関わりができるようになります!

## 保育参観・校内研修会

小学校教職員にとって 意識を大きく変えるきっかけになります

小学校の 全教職員で

### 講義



**10 の姿**について **知る** 

園での遊びの中で,子供たちは様々 なことを体験し学んできているので すね。小学校で、しっかりと引き継 がなくては!

### 保育参観



**10 の姿**を視点として 子供の発達や学びを 見取る

4歳

灯油ボンプでタンクに水を入れて,たまると 違う容器に入れる,を繰り返している。

講義を生かして子供の発達や学びを 10 の姿 を視点として見取り、付箋紙に記録しました。

#### 【小学校の教職員の声】

- ・幼稚園・保育園の先生方の意見はとても新鮮だった。
- ・1年生の指導において、保育園・幼稚園での学びを踏まえることを心掛けるようになった。
- ・全職員が参加したことにより、共通理解が図られた。

- ・教師間の交流、話合いが第一歩だと感じた。小学校の先生方の熱意に感動した。
- ・保育で心がけていることが、小学校生活につながっていることを実感した。
- ・小学校の先生方に、思い立ったら気軽に園に来ていただきたいい。

# 幼保小の教職員



**10 の姿**を視点として 子供の発達や学びを 共有する



グループ協議シートに付箋紙を整理 しながら、10 の姿や幼小の連続性に ついての学びを深めました。

つながっていくかな?,

#### 保幼小連絡会 校種を越え**対等で信頼し合えるパートナーシップ**で、一緒に子供を見ていきましょう

### 入学当初の授業参観・意見交換

→ 段差の大きい入学当初のきめ細やかな支援・指導

## 年間を通して,継続的に

- → 子供の成長を見通す長期的な視野
- → 率直に話し合える幼保小職員の関係づくり。

## 【園の教職員の声】

それぞれの保育・教育 を理解し, 何が大切かを 学ぶことができた。

園の指導を振り返る ことにつながり, 園の生 活の中で積み重ねてく るべきことに気付いた。

#### 【1学年担任の声】

小学校で1番年下の1年生は、何事も 初めてで大変だという意識だったが,子 供の発達の途切れない連続性への意識 ができた。

園でどのような支援や成長があった のかが分かった。5歳から1年生への子 供たちの成長の流れや経験の積み重ね を感じた。1年生の指導に生かしたい。

子供の発達や学び, 資質・能力の

で共有

捉えと共有を明確に

「具体的な姿」

「10 の姿」

## 合同で





この姿は, 小学校のどんな場面に

#### ・なえをうたよう せわを さんのさんぽ じゃんけんぽん② みんなであそぼう② しろくまのシェンカ② うさんのさんぼ・てとて いたひらいた

ねん

かよ

٠,١

学校や子供の実態に合わせて見直しながら活用し, **次年度に**引き継ぎましょう。

合科的・関連的な指導の工夫の記載

幼児期の**総合的な学びを小学校で**発揮できるようにします

子供の思いや願いを生かした学習活動の展開の準備です

関連のある単元や題材を予め把握しておきます

**資質・能力の面から**合科的・関連的な指導が効果

【合科的な指導】

【関連的な指導】

例年, 関連付けた学習が行われていた

単元配列表が複雑であると活用しにくくなるた

・生活科と他教科等との関連のみを記載

・汎用性の特に高い資質・能力による関連は,

子供が主体的に学びに取り組むようになります!

【視点①】

的なものを取り上げる。

教科・時数・内容

基本的に記入しない

形骸化させずに,活用するために

線つなぎ

枠囲み

め,記載数を絞る。

【視点②】

#### ▶入学当初のスタートカリキュラムの時期は、 単元配列表をベースにしながら, 週案等のより詳しい計画で も子供の学びをつないでいくことを意識します。

▶ 2 学年間の児童と発達との関わりや、第3 学年以上の学習と の関わりに配慮することが望まれます。

## 合科的・関連的な指導

まえあそび②

いろいろなかた

(絵) ① リズム遊び④ 鬼遊び③

子供が**学習を楽しみ、力を伸ばし**ます

子供の学びは個別の教科内で閉じず, 関連付いていきます。

were proceedings to a representation of the representation of the

生活科の各単元の主た

50

るといくなん

なつだあ

内容(5)(

・なつの

いはいく

6月

くちばし⑩ おもちやとおもちゃ② おもいだしてはなそう③ あいうえおであそぼう③ おおきくなった④

おむすびころりんたからものをおし

ひらがなのかきかだ

りこりはいくつち

10よりおおきいか

ひらがな

国① あいさ /絵本 読み聞かせ名刺 図① 名刺

きれいにさいてわ9 内容(7)

(絵) ① (絵) ① (絵) ① テョキチョキかざ)(工作)② ひもひもねんど(立体)②

・サわをしよう

(造) ②せんせいあのね(絵) ③

固定施設・遊具遊び④

ないろいろなかたちのかみからせ

大きくなってね。さつまいも⑦ 内容(7

算① 仲間集め遊び

一体① 遊具・並び方

音① 手遊び

・たねをましう

(2) 単元配列表(年間計画)の作成

生活科と他教科等との関連を俯瞰できる

平成 30 年度 花巻市立湯本小学校 第1 学年単元配列表

えをみてはなそう① かきとかぎ② あさのおひさま①

あさのおひさま① はなのみち⑦ ぶんをつくろう⑤ ねことねっこ② わけをはなそう② おばさんとおばあさん①

がなのかきかた②

内容(1)

特③ 持ち物/靴箱・手洗い・トイル/傘/給食/着替え/帰りの準備

5月

こんないいこと!

1 年間を俯瞰できる

4月

ていおうかな②

プサいともちかた(f

かかまづくりとかず点

がっこうだいすき

がっこうのせいかつ どきどきわくわく 1 ねんせ

たのしいがくしゅう

・みんなでがっこうをあるこう

こうていをたんけんしよう

・こうていをあるこうとのるこう ・こうていをあるいてみよう ・ともだちとがっこうをたんけんしよう ・がっこうにいるひととなかよくなろう

たんけんでみつけたことをはなそう みんなでつうがくろをある

そのしいなおもしろいな・かたちとんどんかくのはそのし

・ すたあとぶっく③

はじめまして

単元配列表の作成と見直し

かでたくましく生きる 湯本っ子」の育成

子供の思考の流れに沿った、合科的・関連的な指導の工夫により、学習効果が相乗的に上がります。

## 思考力,

学びに向かう力, 判断力, 表現力等 の基礎

## 判断力,表現力等

学びに向かう力、 人間性等

#### 知識及び技能

図画工作科

の基礎

知識及び技能

どんどんかくのはたのし

#### 生活科

年長児が喜ぶようなペンダントの色や形を思い付く。

年長児の気持ちを考えて,

プレゼントするペンダントについて考える。

# 「10 の姿」の活用の工夫

「10」の姿のキーワード化

「10 の姿」に書かれていることを 捉えやすく, 共有しやすく

例:**「協同性」のキーワード**……□囲み

友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、

|考えたり、工夫したり|、協力|したりし、|充実感|をもってやり遂げるようになる。

※「研究報告書」では、「VIII 実践と考察」の「3 発達や学びをつなぐ生活科単元の作成と実施」に掲載しています。